

東京足立相撲甚句会舎人

活動日時：月2回 第1・3水曜日 午後0時30分～3時
入会金：1,000円 月会費：4,000円

皆さんは相撲甚句をご存知でしょうか？「7・7・7・5」の七五調で披露される相撲の余興の歌のことで、江戸時代から歌われ続けてきた伝統文化です。今回は相撲甚句で活動している東京足立相撲甚句会舎人さんにお話を伺いました。サークルの練習では指導者の林先生が「みだしたと言われる呼吸運動、「7つで吐いて1で吸う」という呼吸体操を行い、声出しをしてから実際の歌唱に入ります。



家では出せない大きな声で先生について歌えるのもサークルの魅力のひとつなのだそうです。福祉施設等での奉仕活動や、結婚・還暦のお祝いの会でも依頼を受けて披露する機会があり、そこで聴く人に喜んでもらうことが自分達の喜びになるとおっしゃっていました。ある会員さんは「相撲甚句はのめり込める。夏は暑さが吹っ飛ぶくらい。」と爽快に語って下さいました。